

平成 18 年度 崇城大学 薬学部 一般入学試験問題 (前期日程)
 数学 I・数学 II・数学 A・数学 B(平成 18 年 1 月 30 日)80 分

1 次の各問に答えよ。

(1) a を定数とする。 y 軸上の点 $P(0, a)$ と放物線 $y = x^2$ 上の点 Q との距離の最小値およびそのときの Q の座標を求めよ。

(2) n を正の整数とする。 $x + y + z = n$ を満たす負でない整数 x, y, z の組の総数を a_n で表す。

(a) a_n を n で表せ。

(b) 数列 $\{a_n\}$ の初項から第 n 項までの和を求めよ。

2 $\triangle ABC$ において, $AB = 2, BC = 4, CA = 3$ である。 $\overrightarrow{AB} = \vec{a}, \overrightarrow{AC} = \vec{b}$ とするとき, 次の各問に答えよ。

(1) $\angle A$ の二等分線と辺 BC の交点を D とするとき, \overrightarrow{AD} を \vec{a}, \vec{b} で表せ。

(2) $\triangle ABC$ の内接円の中心を O とするとき, \overrightarrow{AO} を \vec{a}, \vec{b} で表せ。また, \overrightarrow{AO} の大きさを求めよ。

3 曲線 $y = |x + 2|(x - 4)$ と直線 $y = -2x + k$ が 2 点を共有するとき, これらのグラフで囲まれた図形の面積を求めよ。ただし, 定数 k は $|k| \geq 5$ とする。

解答例

1 (1) PQ間の距離を d とすると

$$\begin{aligned} d^2 &= (x-0)^2 + (x^2-a)^2 \\ &= x^4 + (1-2a)x^2 + a^2 \\ &= \left(x^2 + \frac{1-2a}{2}\right)^2 - \left(\frac{1-2a}{2}\right)^2 + a^2 \\ &= \left(x^2 + \frac{1-2a}{2}\right)^2 + \frac{4a-1}{4} \end{aligned}$$

[1] $\frac{1-2a}{2} > 0$ すなわち $a < \frac{1}{2}$ の場合

$x^2 = 0$ のとき d は最小となる。

$Q(0, 0)$ のとき, d は最小値 $|a|$ をとる。

[2] $\frac{1-2a}{2} \leq 0$ すなわち $a \geq \frac{1}{2}$ の場合

$x^2 = \frac{2a-1}{2}$ のとき d は最小となる。

$Q\left(\pm\sqrt{\frac{2a-1}{2}}, \frac{2a-1}{2}\right)$ のとき, d は最小値 $\frac{\sqrt{4a-1}}{2}$ をとる。

(2) (a) 異なる3種類のもの (x, y, z) から, 重複を許して n 個とる組合せの総数であるから (重複組合せ)

$$\begin{aligned} a_n &= {}_3H_n = {}_{3+n-1}C_n = {}_{n+2}C_n = {}_{n+2}C_2 \\ &= \frac{(n+2)(n+1)}{2 \cdot 1} = \frac{1}{2}(n+1)(n+2) \end{aligned}$$

(b) $a_k = \frac{1}{2}(k+1)(k+2) = \frac{1}{2}(k^2 + 3k + 2)$ であるから

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n a_k &= \frac{1}{2} \sum_{k=1}^n (k^2 + 3k + 2) \\ &= \frac{1}{2} \left\{ \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1) + 3 \times \frac{1}{2}n(n+1) + 2n \right\} \\ &= \frac{1}{6}n(n^2 + 6n + 11) \end{aligned}$$

[例] チョコ, バニラ, メロンの3種類のアイスクリームがたくさんある.
これらの中から5個のアイスクリームを選ぶとき, 何通りの選び方があるか. ただし, 含まないアイスクリームがあってもよいものとする.

考え方 2つの仕切り(|)があれば, 3種類のアイスクリームに分けることができるので, 仕切りの左側をチョコ, 仕切りと仕切りの間をバニラ, 仕切りの右側をメロンとする. たとえば

		は チョコ1個, バニラ2個, メロン2個
		は チョコ4個, バニラ0個, メロン1個
		は チョコ2個, バニラ3個, メロン0個

このように考えると, 2つの|と5つの の配列の仕方の総数が3種類のアイスクリーム5個の選び方の総数である. これは同じものを含む順列で,
 $7 = (3 - 1) + 5$ 個の場所から5個の の場所を選ぶ組合せの数で

$${}_{(3-1)+5}C_5 = {}_7C_5 = {}_7C_2 = \frac{7 \cdot 6}{2 \cdot 1} = 21 \text{ (通り)}$$

一般に, 異なる n 個のものから重複を許して r 個を取る組合せの数は, 上と同じ考えで, $n - 1$ 個の仕切り|と r 個の の順列の数で, $(n - 1) + r$ 個の場所から, r 個の の場所を選ぶことであるから

$${}_{(n-1)+r}C_r \text{ すなわち } {}_{n+r-1}C_r$$

である. このような組合せを重複組合せといい, その数を ${}_nH_r$ で表す.

重複組合せ

異なる n 個のものから, 重複を許して r 個とる組合せの数は

$${}_nH_r = {}_{n+r-1}C_r \quad (n < r \text{ でもよい})$$

[問] $x + y + z = 8, x \geq 0, y \geq 0, z \geq 0$ を満たす整数 x, y, z の組 (x, y, z) は, 全部で何組あるか.

(解) 異なる3種類のものから, 重複を許して8個とる組合せの総数であるから ${}_3H_8 = {}_{3+8-1}C_8 = {}_{10}C_8 = {}_{10}C_2 = 45$ (組)

$x + y + z = n (n \geq 0)$ の負でない整数解の個数は

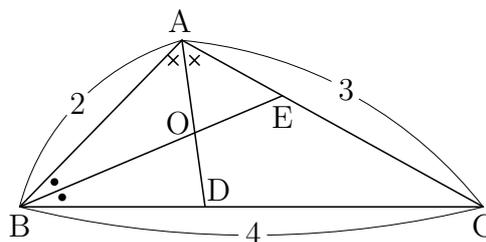
$${}_3H_n = {}_{3+n-1}C_n = {}_{n+2}C_n = {}_{n+2}C_2 = \frac{(n+2)(n+1)}{2}$$

2 (1) AD は $\angle A$ の二等分線であるから

$$BD : DC = AB : AC = 2 : 3$$

D は線分 BC を 2 : 3 に内分する点であるから

$$\vec{AD} = \frac{3\vec{a} + 2\vec{b}}{2+3} = \frac{3}{5}\vec{a} + \frac{2}{5}\vec{b}$$



$$(2) BD = BC \times \frac{2}{2+3} = 4 \times \frac{2}{5} = \frac{8}{5}$$

BO は $\angle B$ の二等分線であるから

$$AO : OD = BA : BD = 2 : \frac{8}{5} = 5 : 4$$

$$\text{したがって} \quad \vec{AO} = \frac{5}{9}\vec{AD} = \frac{5}{9} \times \frac{3\vec{a} + 2\vec{b}}{5} = \frac{1}{9}(3\vec{a} + 2\vec{b}) \quad \dots \textcircled{1}$$

$\angle BAC = \theta$ とおき, $\triangle ABC$ に余弦定理を適用すると

$$\cos \theta = \frac{AB^2 + AC^2 - BC^2}{2AB \cdot AC} = \frac{2^2 + 3^2 - 4^2}{2 \cdot 2 \cdot 3} = -\frac{1}{4}$$

$$\text{ゆえに} \quad \vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}| |\vec{b}| \cos \theta = 2 \times 3 \times \left(-\frac{1}{4}\right) = -\frac{3}{2} \quad \dots \textcircled{2}$$

したがって, $|\vec{a}| = 2$, $|\vec{b}| = 3$ および $\textcircled{1}$, $\textcircled{2}$ から

$$\begin{aligned} |\vec{AO}|^2 &= \frac{1}{9}(3\vec{a} + 2\vec{b}) \cdot \frac{1}{9}(3\vec{a} + 2\vec{b}) \\ &= \frac{1}{81}(9|\vec{a}|^2 + 12\vec{a} \cdot \vec{b} + 4|\vec{b}|^2) \\ &= \frac{1}{81} \left\{ 9 \times 2^2 + 12 \times \left(-\frac{3}{2}\right) + 4 \times 3^2 \right\} = \frac{2}{3} \end{aligned}$$

$$\text{よって} \quad |\vec{AO}| = \sqrt{\frac{2}{3}} = \frac{\sqrt{6}}{3}$$

3 曲線 $y = |x + 2|(x - 4)$ は

$$y = \begin{cases} -(x + 2)(x - 4) & (x \leq -2) \\ (x + 2)(x - 4) & (x \geq -2) \end{cases}$$

この曲線と傾き -2 の直線が 2 点を共有するのは、右の図のように点 $(-2, 0)$ を通る直線 l_1 および曲線に接する直線 l_2 である。

l_1 は点 $(-2, 0)$ を通るから $k = -4$

l_2 は放物線に接するから $k = -8$

$|k| \geq 5$ であるから l_1 は不適

$x < -2$ において、曲線と直線 l_2 の共有点の x 座標は

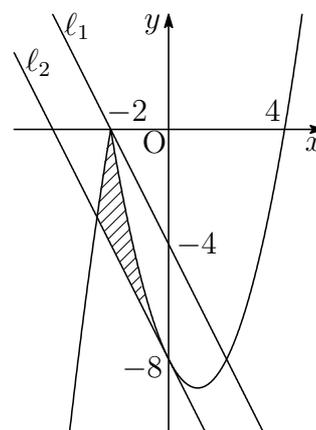
$$-(x + 2)(x - 4) = -2x - 8 \quad \text{これを解いて} \quad x = 2 - 2\sqrt{5}$$

$x > -2$ において、曲線と直線 l_2 の共有点の x 座標は

$$(x + 2)(x - 4) = -2x - 8 \quad \text{これを解いて} \quad x = 0$$

したがって、求める面積 S は

$$\begin{aligned} S &= \int_{2-2\sqrt{5}}^{-2} \{-(x + 2)(x - 4) - (-2x + 8)\} dx \\ &\quad + \int_{-2}^0 \{(x + 2)(x - 4) - (-2x - 8)\} dx \\ &= \int_{2-2\sqrt{5}}^{-2} \{-(x - 2)^2 + 20\} dx + \int_{-2}^0 x^2 dx \\ &= \left[-\frac{1}{3}(x - 2)^3 + 20x \right]_{2-2\sqrt{5}}^{-2} + \left[\frac{1}{3}x^3 \right]_{-2}^0 \\ &= \frac{80\sqrt{5}}{3} - 56 \end{aligned}$$



重要な積分法

$$n \geq 0 \text{ である整数のとき} \quad \int (x - \alpha)^n dx = \frac{1}{n + 1} (x - \alpha)^{n+1} + C$$